

いきいきなになわ

難波小学校 学力向上推進委員会だより
9月号 令和4年9月29日

子どもへの叱咤激励ではなく、「生活力向上」に直結するものは？

「もっと努力しなさい。」そう言って子どもを奮起させようとしたことがありますか。でも、子どもを言葉で奮い立たせようとしても、自立した生活を営む「生活力」の向上には必ずしも結びつかない。そんな調査結果を国立青少年教育振興機構が、過去に発表しています。

どのような調査かという、「家事・暮らしの力」「礼儀・マナー」「コミュニケーション力」「健康管理」「課題解決力」に5分類した資質や能力について、自己評価をしてもらったというものでした。

子どもとの接し方について、「もっと頑張りなさい」「しっかり勉強しなさい」などの叱咤激励をするか、趣味などを一緒に楽しむかなど、保護者に回答してもらいます。その回答結果から、生活力がどのように身につくのかを分析したそうです。

叱咤激励をよくするという家庭で、家事・暮らしの力が「高い」と答えた子は15.2%、課題解決力は45.7%。一方、叱咤激励をしない家庭を見ると、それぞれ18.9%と49.2%と少し上回っています。礼儀・マナーや健康管理でも、叱咤激励をしない家庭の子のほうがやや高く、コミュニケーション力ではほぼ差がありませんでした。

では、子どもの力を伸ばすものは何でしょうか。調査結果では「体験」が鍵になることが浮き彫りになりました。例えば、お家の方が自分の体験を話したり、一緒に趣味を楽しんだり、よくほめたりする家庭で、礼儀・マナーが「高い」と答えた子は63.8%に対し、そうでない家庭の子は52.9%。ほかの4分類も同様です。

どうやら言葉で鼓舞するよりも、実体験を積んだり、親子で体験を共にしたりするほうが、子どもにとって効果的だと言えるそうです。

ただ、社会が多様化する中で、子どもに体験の機会を多く与えられない環境や状況もあります。学校内のこと、家庭内のことと流さず、学校、地域、家庭でそれぞれできることを再度考えていきましょう。



あるなしクイズ

第1問

ある	ない
ぱんだ	くま
ピーナッツ	えだまめ
プリン	ゼリー
ペン	けしゴム
ポーランド	イタリア

第2問

ある	ない
さる	ゴリラ
いぬ	ねこ
きじ	はくちょう
おに	てんし
もも	りんご

第3問

ある	ない
新聞紙	雑誌
八百屋	魚屋
目覚め	寝起き
色紙	折り紙
トマト	きゅうり

第4問

ある	ない
しょうわ	えど
みどり	きいろ
こども	おとな
うみ	かわ
やま	もり

第1問 「ある」の最初の文字は、ぼ行(ぼ・び・ぶ・べ・ぼ)です。「ある」の言葉は、昔話「桃太郎」に登場するものです。「ある」には上からよんでも下からよんでも同じになる「回文の言葉」がいくつかあります。

第2問 「ある」には「祝日の言葉」がかかれています。

第3問 「ある」には「上からよんでも下からよんでも同じになる「回文の言葉」がいくつかあります。

第4問 「ある」には「祝日の言葉」がかかれています。